

科目	基礎作業学実習Ⅱ	担当	林 浩之	履修学年	2年
時間数	90分×時限×24回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

本科目では、作業療法で治療手段として用いる各作業活動の基本的知識や技法を習得するとともに、治療的意味について学ぶ。また、作業活動について、使用する道具や活動の特性、活動に必要な身体機能や精神機能の要素について分析まで行う。

到達目標について、①各活動の使用する道具や工程の理解および説明ができる、②各活動の身体的・精神的効果について説明ができる、③対象者を想定した活動の計画および実施の修得を目標とする。

**【履修注意】**

・道具・器具の使用には危険性が伴うため身だしなみを整えて授業に臨むこと(爪を切る、長い髪は束ねるなど)

・活動しやすく、汚れても良い服装を着用すること。

・各製作について分析的な視点で取り組むこと。

なお、予定を変更することがある。

**【評価方法】**

レポート5割、期末試験5割で総合的に評価する。

レポートに関しては、やむをえない事情がない限り、提出期日に間に合わない場合は評価不可とする。

期末試験の受験方法については、規定通りとする。

**【試験について】**

期末試験を実施する。なお、期末試験は筆記試験である。

再試験対象者の条件：レポート、期末試験の総合評価が60点未満

**【予習・復習】**

事前に、活動の効果等について考えておく。レポートを作成する過程で復習を行う。

**【教科書】**

**【参考書】**

書籍名：作業-その治療的応用 改訂第2版 著者：日本作業療法士協会編集 出版社：協同医書出版

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1・2	各活動の効果	活動, 効果, 文献レビュー
3・4	各活動の効果	活動, 効果, 発表
5・6	グループ製作	グループ活動, 計画, 製作
7・8	グループ製作	製作, 発表, まとめ
9・10	調理活動	疾患, 代償, 支援
11・12	調理活動	疾患, 発表, まとめ
13・14	自助具製作	自助具, 代償, 製作
15・16	自助具製作	自助具, 身体機能, 発表
17・18	作業分析	機器説明, 電気角度計, 筋電図, 血圧計
19・20	作業分析	作業活動, 機器を用いた分析, まとめ
21・22	作業分析	作業活動, グループ, 発表
23・24	まとめと試験	作業活動, 作業分析, 効果, 試験
13		
14		
15		
16		